

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第6週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,320人(定点あたり53.2)で、前週比72%と減少した。

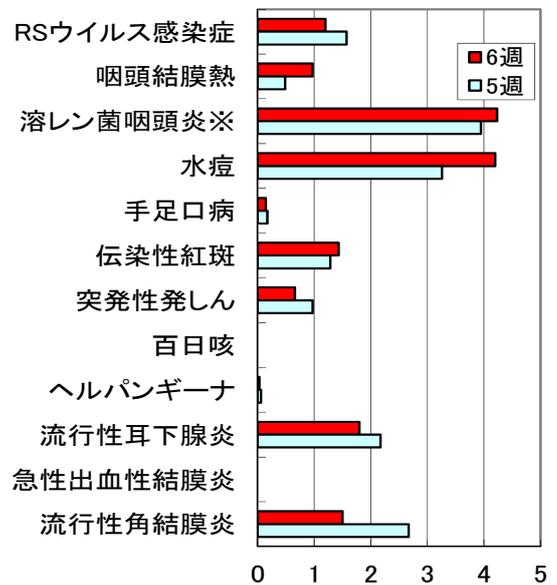
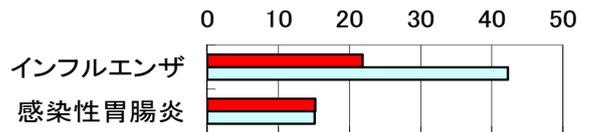
前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

咽頭結膜熱の報告数は34人(0.97)で前週比200%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.51)の約1.9倍であった。延岡(4.0)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では2歳から6歳で全体の約8割を占めた。全て8歳以下の報告であった。

水痘の報告数は147人(4.2)で前週比129%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(4.2)とほぼ同数であった。高鍋(9.5)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約7割を占めた。

インフルエンザの報告数は1,267人(21.8)で前週比52%と減少した。小林(31.8)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では5歳以下が全体の41%、6-9歳が26%、10-14歳が14%、15-19歳が2%、20-50歳代が15%、60歳以上が2%を占めた。

《前週との比較》



定点あたり報告数  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
インフルエンザ	30	21.8	小林(31.8)	5歳以下が全体の41%、6~9歳が26%、10~14歳が14%、15~19歳が2%、20~50歳代が15%、60歳以上が2%を占めた。
咽頭結膜熱	3	0.97	延岡(4.0)	2歳~6歳で全体の約8割を占めた。全て8歳以下の報告であった。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4.2	日南(12.7)、延岡(11.3)	4歳~6歳で全体の約半数を占めた。
感染性胃腸炎	20	15.2	延岡(27.0)	1歳~4歳で全体の約半数を占めた。
水痘	7	4.2	高鍋(9.5)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.4	高鍋(4.8)、中央(3.0)	4歳~7歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	1.8	日南(9.7)	3歳~5歳で全体の約7割を占めた。

□ 感染性胃腸炎の集団発生（平成 23 年 2 月 7 日～平成 23 年 2 月 13 日まで）

保健所名	施設の種別	件数
日南	保育所	1
宮崎市	老人保健福祉施設	1

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 4 例が宮崎市（3 例）、都城（1 例）保健所から報告された。  
《宮崎市保健所》・60 歳代の男性で肺結核。咳、発熱がみられた。  
・60 歳代の女性で肺結核。  
・20 歳代の男性で疑似症患者。血痰がみられた。  
《都城保健所》・20 歳代の女性で結核性胸膜炎。発熱、胸痛がみられた。
- 3 類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が都城保健所から報告された。7 歳の女兒で無症状病原体保有者。原因菌は O111（VT1、VT2 産生）。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 報告なし。

## ■ 全国第 5 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 45.8 で、前週比 94%と減少した。今週増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は百日咳であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 2,829 人（0.9）で、前週比 108%と増加した。長野県（4.9）、香川県（2.6）、宮崎県（2.2）からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 143,035 人（28.9）で、前週比 91%と減少した。長崎県（44.1）、宮崎県（42.3）、群馬県（41.2）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 29%、6-9 歳が 25%、10-14 歳が 16%、15-19 歳が 4%、20-50 歳代が 23%、60 歳以上が 3%を占めた。

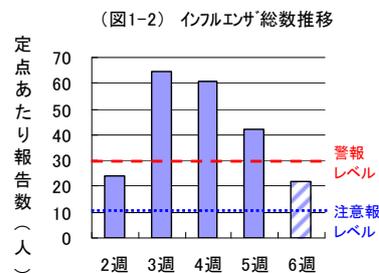
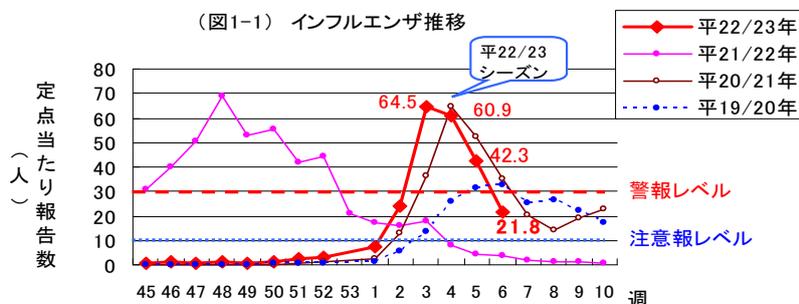
### □全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 336 例
- 3 類感染症： 細菌性赤痢 7 例、腸管出血性大腸菌感染症 12 例
- 4 類感染症： E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 19 例、チクングニア熱 1 例、デング熱 2 例、レジオネラ症 6 例
- 5 類感染症： アメーバ赤痢 11 例、ウイルス性肝炎 4 例、急性脳炎 6 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 9 例、ジアルジア症 2 例、梅毒 7 例、風しん 1 例、麻しん 10 例

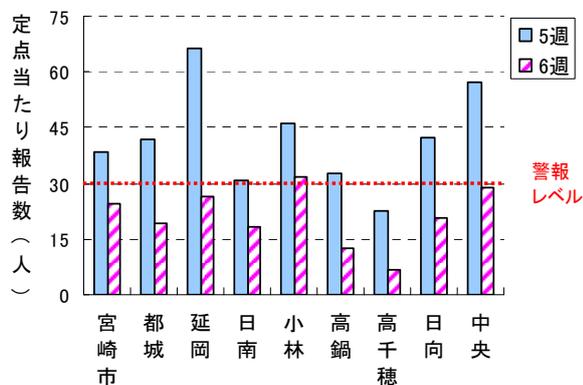
## ■ インフルエンザ情報《県内第6週、全国第5週（再掲）》

### □ 県内第6週インフルエンザ発生動向

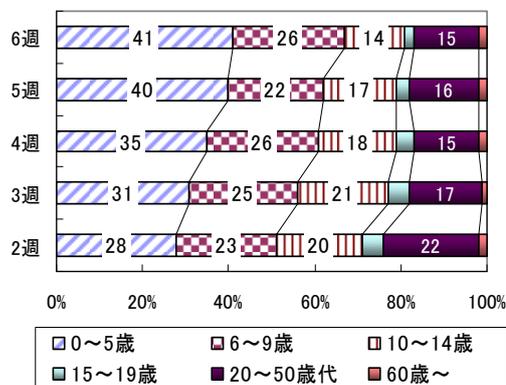
平成23年2月7日～2月13日までの1週間で1,267人（定点あたり21.8）の報告があり、前週に比べ52%と減少した（図1-1,2）。小林（31.8）・中央（29.0）・延岡（26.3）保健所からの報告数が多く（図2）、小林保健所管内では引き続き警報レベルを超している。年齢別では5歳以下が全体の41%、6-9歳が26%、10-14歳が14%、15-19歳が2%、20-50歳代が15%、60歳以上が2%を占めた（図3）。



(図2) 保健所別報告数



(図3) 年齢群別の割合 (%)



## インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○:警報レベル、△:注意報レベル、-警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (第6週)		1週前 (第5週)		2週前 (第4週)		3週前 (第3週)		4週前 (第2週)		5週前 (第1週)	
	2/7~2/13		1/31~2/6		1/24~1/30		1/17~1/23		1/10~1/16		1/3~1/9	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	24.4	△	38.6	○	50.0	○	60.6	○	17.6	△	3.9	-
都城	19.0	△	41.8	○	64.5	○	78.1	○	36.9	○	16.9	△
延岡	26.3	△	66.1	○	104.1	○	105.9	○	45.3	○	10.4	△
日南	18.2	△	31.0	○	65.4	○	68.2	○	29.4	△	6.4	-
小林	31.8	○	46.2	○	75.2	○	71.4	○	23.8	△	7.8	-
高鍋	12.7	△	32.8	○	45.7	○	48.2	○	16.5	△	5.2	-
高千穂	6.5	-	22.5	△	30.0	○	15.5	△	8.5	-	1.0	-
日向	20.8	△	42.3	○	42.2	○	28.0	△	8.2	-	1.7	-
中央	29.0	△	57.0	○	64.0	○	64.0	○	11.0	△	4.5	-

### □ 全国第5週インフルエンザ発生動向

平成23年1月31日～2月6日までの1週間で143,035人（28.9）の報告があり、前週比91%と減少した。長崎県（44.1）、宮崎県（42.3）、群馬県（41.2）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の29%、6-9歳が25%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-50歳代が23%、60歳以上が3%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2011年 第06週(02月07日～02月13日)

疾病名		第5週	第6週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2452	1267	390	171	184	91	159	76	13	125	58
	定点あたり	42.28	21.84	24.38	19.00	26.29	18.20	31.80	12.67	6.50	20.83	29.00
RSウイルス 感染症	報告数	55	42	9	4	1	2		13		12	1
	定点あたり	1.57	1.20	0.90	0.80	0.25	0.67	0.00	3.25	0.00	3.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	17	34	4	7	16	3	2	1		1	
	定点あたり	0.49	0.97	0.40	1.40	4.00	1.00	0.67	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	138	148	18	8	45	38		22		12	5
	定点あたり	3.94	4.23	1.80	1.60	11.25	12.67	0.00	5.50	0.00	3.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	528	531	126	80	108	50	58	39	12	52	6
	定点あたり	15.09	15.17	12.60	16.00	27.00	16.67	19.33	9.75	12.00	13.00	6.00
水痘	報告数	114	147	56	20	7	3	4	38		13	6
	定点あたり	3.26	4.20	5.60	4.00	1.75	1.00	1.33	9.50	0.00	3.25	6.00
手足口病	報告数	6	5	2	1						2	
	定点あたり	0.17	0.14	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	45	50	13	9	4	1		19		1	3
	定点あたり	1.29	1.43	1.30	1.80	1.00	0.33	0.00	4.75	0.00	0.25	3.00
突発性発しん	報告数	34	23	8	3	3	3		3		2	1
	定点あたり	0.97	0.66	0.80	0.60	0.75	1.00	0.00	0.75	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	1		1							
	定点あたり	0.06	0.03	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	76	63	19	5	6	29		1		3	
	定点あたり	2.17	1.80	1.90	1.00	1.50	9.67	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	9	9								
	定点あたり	2.67	1.50	3.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～6週)

2類感染症	結核	27例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例(1)				
4類感染症	つつが虫病	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	2例
	梅毒	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～6週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	12例(1)
-------	-------------------	--------

( )内は今週届出分、再掲